２０２６年10月19日
第71号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本
発行人　椀田優一
編　集　情宣担当
ホームページ
http://www.jreu-yokohama1.jp/

横地申第２号　南武線と鶴見線乗務業務の一元化に関する解明申し入れ　団体交渉を行う！④

12. 現在の鶴見乗務の乗務員が南武線の単独乗務開始後、鶴見線担当になることに変更はないのか明らかにすること。

【会社回答】必要な教育・訓練を実施したうえで、南武線、南武線（尻手・浜川崎間）及び鶴見線の乗務業務を一元的に担えるよう進めていく考えである。

１２項・１３項は同時議論！

13. 中原乗務の乗務員が鶴見線の単独乗務開始後、そのまま鶴見線担当を継続する理由を明らかにすること。

【会社回答】必要な教育・訓練を実施したうえで、南武線、南武線（尻手・浜川崎間）及び鶴見線の乗務業務を一元的に担えるよう進めていく考えである。

組　合	会　社
鶴見乗務の乗務員に対する養成方法について示すこと。	線区の特情により、養成方法が異なる。最終的に業務の一元化を目指すが、養成については線区毎に行っていく。
教育のスタイルに差があると感じる。業務一元化以降も養成は続けるのか。	中原乗務の方が乗務員は多いため、中原乗務の乗務員で鶴見線と南武支線の線見を終えた方は、そのまま鶴見乗務にて乗務していただく。そのことにより、鶴見乗務から中原乗務での乗務員養成の余力を生み出せる。
鶴見乗務に要員が偏らないか。	半年のスパンで見ており、来年3月までを見ている。
業務一元化実施後の2交番状態での運用についてはどうか。	しっかりと技量維持できるように考えていく。
中原乗務から鶴見乗務に来た乗務員は鶴見乗務の訓練しか受けていない。中原乗務での訓練受講はどう考えているのか。	**空白期間の訓練はフォローする。**

14. 現養成スケジュールでは南武線担当の乗務員が減少し、休日出勤が増加すると懸念している。この認識について、明らかにすること。

【会社回答】計画的な業務遂行を徹底することにより、適切な労働時間管理に努めていく考えである。なお、労働時間管理については就業規則等に則り取り扱っていく。

組　合	会　社
計画的な業務遂行とは具体的にどういうことか。	今後の行路運用も勘案し、適切に取り扱っていく。
見習い養成についての考え方を示すこと。	31回生は鶴見乗務で養成に入っているが、32回生は未定である。どのような方法がよいか**検討している。**
31回生が一人乗務になるのは一元化開始後である。先に両方乗務できるようにするのか。	そのような方法もある。見習いの負担も考慮し、コミュニケーションを図っていく。
一元化実施後の試験区間の考え方について示すこと。	養成方法が決まってからとなる。

15. 乗務員を2交番にする理由を明らかにすること。

【会社回答】南武線、南武線（尻手・浜川崎間）及び鶴見線に乗務することになるが、必要な教育及び線見が終了するまでは2交番での運用を予定しているところである。

組　合	会　社
必要な教育が完了するまで2交番で運用するのか。	**不安なくできるようになるまで2交番で運用する予定である。教育・訓練を犠牲にしてまで、1交番とする考えはない。**

次号⑤に続く